

市政報告ニュース 第21号 2014年春

藤沢台在住 金剛高校1期生

富田林市議会議員

尾崎てつや

緑と子どもたちの歓声があふれる富田林をめざして!

www.ozaki-tetsuya.jp



こんにちは、富田林市議会議員の尾崎てつやです。日ごとに春の訪れを感じるようになりましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。皆様のご支援によりお送りいただいた市議会3期目も早や3年が経過し、その任期もあと1年となりました。

さて、先の富田林市議会3月定例会において平成26年度予算案が議決されました。一般会計予算の総額は昨年に比べて0.5%減の総額379億6千万円です。その主な内容は、「子育てしやすいまちづくり」、「安全で安心なまちづくり」を重視した編成となっています。この中で、歳入の根幹を成す市税収入(市民税、固定資産税、法人市民税など)は、アベノミクスによる景気回復傾向を反映し、総額134億1千万円で、昨年度に比べて4千万円増となっています。

しかし、国政レベルでは「デフレ局面を脱した」など、経済好転の声が聞かれますが、その恩恵がすべての国民にまで浸透しておらず、特に、大阪を中心とした関西圏は未だ景気低迷を実感する日々が続いており、なかなか、明るい兆しが見えてこない、私は感じています。

さらに富田林市においては、人口減少と少子高齢化の進行、民生費支出の増加、老朽化したインフラへの対策、防災体制の強化など困難な課題が山積し、非常に厳しい市政運営を強いられています。私は、このような状況下においてこそ、**富田林市の未来をしっかりと見据えながら「今、何を優先すべきか」を判断し、市民と行政が一丸となって課題解決に取り組んでいくことが重要だと考えています。**

3期目の残り1年間は、任期の総仕上げとして、公約実現ならびに皆様のお声を市政に反映させるため、私の初心である「子育て・教育」・「高齢者の生きがい」・「緑のまち」にこだわり、**子育て世代の目線**で議員活動に全力で取り組む所存ですので、これからもご指導のほどよろしくお願いいたします。

平成27年夏、市民プールがオープンします!

平成24年に老朽化などの理由により市民プールが閉鎖され、その代替策として4つの小中学校プールが開放されてきました。しかし、従前と比して利用者要件の厳格化や開設時間の縮小など利用者にとって不満の残る内容であり、多くの市民から「市民プールの復活」を望むご意見を頂いていました。私たちとんだばやし未来は、平成24年9月議会、平成25年6月議会・9月議会と市民プール復活に向けて議会質問で取り上げてまいりました。これを受けて、先の平成26年3月議会において、多田市長が「**平成26年度中に川西地区にあった市営プールを全面改修し、平成27年夏に家族連れでも楽しめるような新たな市営プールとしてオープンする**」と表明されました。市民のみなさんのお声により、子どもたちの夏休みの思い出が増えることをとてもうれしく思います。



平成26年度の主な新規・拡充事業

○中学生の通院費助成

現在は、小学生の通院費、入院費および中学生の入院費が助成対象ですが、平成26年10月からは中学生の通院費も助成対象となります。

詳しくは福祉医療課

(内線167)まで

○小・中学校の図書室にエアコンが設置されます。

○高規格救急車の増加

救急出場件数が年々増加していることに伴って、高規格救急車を1台増加します。

救急出場回数

平成23年	5,879件
平成24年	6,116件
平成25年	6,466件

先進事例を学び、政策提案しています

とんだばやし未来 視察報告

ツタヤ(ccc)による図書館指定管理について

平成25年8月

…佐賀県武雄市

佐賀県武雄市では、市立図書館を民間企業のツタヤ(カルチャーコンビニエンスクラブ…CCC)が運営しています。指定管理制度導入により開館は夜9時まで、年中無休となりましたが、運営経費は1千万円削減されました。さらに施設内には本の販売、CDやDVDのレンタル、スターバックスコーヒーもあります。施設は木目調の内装で空間が広く、図書館とは思えない雰囲気です。また、子どもから高齢者まで多くの人で賑わっていました。

富田林市でもこのような指定管理制度や民間活用を積極的に導入するよう提案しています。



▲武雄市図書館



その他の視察

●鳥栖市「夢プラン21事業」 ●福岡市「ふくおか未来カフェ」

子ども関連複合施設

平成25年10月

…札幌市立資生館小学校

札幌市立資生館小学校は児童減少に伴い建物の有効活用と地域コミュニティ活性化を目的として4つの小学校を統廃合し、小学校、学童クラブ、保育園、子育て支援総合センターの4施設が併設された子ども関連施設として、平成16年に開設されました。私たちは、この事例のように、各地域の学校を開放し積極的に地域コミュニティ施設等に活用すべきと提案しています。



▲札幌市立資生館小学校



その他の視察

●石狩市「いしかり市民カレッジ」 ●江別市「顔づくり事業」



藤沢台小学校庭芝生化オープニングセレモニー (H25.6.1)



金剛中学校体育大会 (H25.9.28)

明治池中学校体育大会 (H25.9.28)



葛城中学校体育大会 (H25.9.28)

すこやかネット藤陽 (H26.2.22)



五軒家だんじり祭り (H25.10.11~13)

ホームページもご覧下さい

www.ozaki-tetsuya.jp

尾崎てつや とんだばやし未来議会質問(抜粋)

平成25年度の「とんだばやし未来会派」の議会質問の一部をご報告させていただきます。

詳細については、富田林市議会のホームページ(<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/gikai/index.html>)の映像配信をご覧ください。

金剛中央線かいわいを活用した賑わいの創出について 平成25年6月議会

質問

金剛駅から東に延びる金剛中央線は、車道・歩道ともに幅が広く、久野喜台・寺池台・高辺台を貫く、まさしく金剛地区のメインストリートである。沿道には、金剛連絡所や郵便局、派出所、スーパー、商店街、学校、診療所等が所在し、かつては多くの人で賑わい金剛地区市民の集いの場となっていた。少子高齢化が進行する金剛地区の再生・活性化を進めるためには、金剛中央線の賑わい復活が必要不可欠だと考える。



▲金剛中央線

(1) 歩行者天国・フリーマーケット・パレード・イルミネーション・展示などによるイベント開催など市民主催により開催してはどうか

答弁

金剛地区の活性化は、本市の行政運営において大きな課題であると考えている。金剛中央線のイルミネーションなどのイベント開催については、まちに人が集まり、地域住民、商業者の連帯感を醸成するきっかけになると考えるので検討していく。

(2) 金剛駅前公園(久野喜台1号公園)の立地を生かし金剛地区の賑わいを創出するような活用の仕方は?

答弁

久野喜台1号公園については利用促進を図れるよう、方策を検討していく。



▲久野喜台1号公園

(3) 金剛中央公園について

～賑わいづくりの一環として施設の充実を求める～

質問

金剛中央線を挟んで関西スーパーの北隣に位置する金剛中央公園は、金剛地区の中心に所在している。しかし、地理的な特徴から高低差があり、勾配が急な階段を約50段も降りなければならず、高齢者や障がい者、小さな子どもを連れた親子にとって利用しにくい構造になっている。さらに、公園内には、日よけやベンチなどの設備もほとんどなく市民が憩う・集うという都市公園本来の機能が発揮されていない現状である。そこで、関西スーパー前交差点からの侵入が容易となるよう、遊歩道やスロープなどを設け、さらには公園内に日よけやベンチ、テーブル、手洗いなどを設置し、買い物帰りや散歩、駅からの帰宅途中の休憩や憩いの場となるようにすべきであると考えているが見解を問う。



▲金剛中央公園

答弁

金剛中央公園については、スロープ設置も含め施設充実を検討し、市民の憩いの場であるとともに、まちの活性化やにぎわいを生む地域資源として再認識し、利用しやすく、親しみやすい都市公園となるよう努める。

要望

市の西部地域、特に金剛地区のにぎわいの創出、活性化を図るためには、この金剛中央線かいわいが重要なポイントになる。今回の様々な提案を進めるよう要望する。

市民プールを復活すべきでは 平成25年6月・9月議会

質問

市民プールは子どもたちの居場所としてだけでなく、体力強化や規則正しい生活習慣の確立、親子の触れ合い、さらには思い出づくりとしても大きな役割を果たすと考える。市民プールを復活すべきであると考えているが見解を問う。

答弁

川西地区にあった市営プールを全面的に大規模改修を行い、幼児プールを併設したレジャー性要素を持つ市営プールとして平成27年度開設を目標にする

教育施設の有効活用について 平成25年6月・12月議会

質問

本市においても少子化が進行している。恒久的に余剰と見込まれる教室を利活用することは将来の街づくりにおいても大変重要であると考えている。余裕教室を保育園・子育てサロンなどの福祉施設や地域コミュニティ施設等に積極的に活用し、学校を地域のコミュニケーションの核とするべきであると考えているが見解を問う。



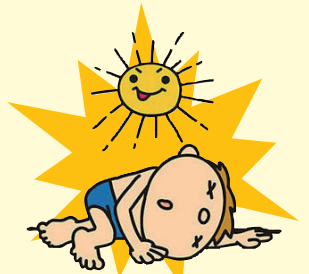
答弁

本市において児童生徒数は、昭和57年度の1万5610人をピークに減少し、平成25年5月1日現在9373人となっている。余裕教室の有効活用は重要であると認識している。今後、余裕教室を積極的に開放するための活用指針の策定に向けた検討会を立ちあげていく。

小中学校の普通教室にエアコン設置を求めて 平成26年3月議会

質問

近年、夏の猛暑により各地で熱中症患者が多く発生する事例が後を絶たない。中でも屋内の熱中症発生が多く取り上げられている。総務省の全国消費実態調査によれば、大阪は全国で2番目の97.4%で、ほとんどの世帯にエアコンがあり、街に出れば店舗や企業どこにでも設置されているのが現状である。本市の小中学校には、扇風機やミストファンの設置や保健室等にはエアコンが設置されているが普通教室には設置されていない。児童生徒の健康面への配慮や学習環境の改善のため小中学校の普通教室にエアコン設置を求めるが見解を問う。



答弁

エアコン設置にかかる費用は、1教室あたり約200万円かかり、本市の全小中学校の普通教室に設置すると約9億8千万円必要である。また、国の負担は3分の1で、市の負担は大きい。今後、教育委員会として、児童生徒のより良い教育環境を確保するため普通教室へのエアコン設置に向けて調査研究していく。

要望

厳しい財政状況でもあるので、まずは体力が十分でない小学校低学年のクラスや受験前の中学3年生から設置されるよう要望する。

みなさんの想いが「カタチ」になりました

○藤沢台小学校の保護者・地域住民のみなさんからのかねてからの想いであった藤沢台5丁目交差点に信号機が設置されました。



▲藤沢台5丁目交差点

○久野喜台小学校の保護者・地域見守り隊のみなさんからの要望であった青葉丘集会所前交差点に歩行者用信号機が設置されました。



▲青葉丘集会所前交差点



ご意見・ご要望等お聞かせください

子どもから高齢者まで、より多くの方からご意見を伺い、政策を立案し、行政に提案していく活動が、これからの富田林市には重要であると考えています。「ちょっと時間あるから」、「堅苦しいものでなく「ざっくばらん」に話したい」等、どんなことでも結構ですので、お電話、ファクス、Eメール等にて下記までご連絡ください。一つでも多くの皆さんのお声を市政へと届けてまいります。

シティセールス(人口減少対策)に取り組んでいます

本市では、平成14年に12万6,725人だった人口が平成26年2月末現在には11万6,617人と約1万人減少しています。人口減少は税収入の減少、地域経済の低迷など私たちの将来に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。よって、これからのまちづくりには、人口増加や企業誘致、観光振興などによる**地域活性化を目的とした特色ある政策立案が必要です**。富田林市に「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」「働いてみたい」という市内外の人々の気持ちを引き出すことを目指したシティセールスを進めていくために議会では取り上げています。

尾崎 哲哉 プロフィール

昭和39年

富田林市五軒家生まれ
富田林市藤沢台在住
久野喜台小学校、金剛中学校、金剛高校(1期生)
中学、高校時代は陸上部主将
大阪商業大学卒業

昭和62年

平成15年4月

富田林市議会議員選挙にて初当選

平成19年4月

富田林市議会議員選挙にて2期目の当選

平成20年

富田林市議会副議長に就任

平成23年4月

富田林市議会議員選挙にて3期目の当選

平成24年5月

お気に入り

富田林市議会議長に就任
海釣り、サザンオールスターズ、バイク、映画鑑賞、沖縄
www.ozaki-tetsuya.jp

ホームページ
ブログ
Facebook



ブログQRコード



FacebookQRコード